

「アイノとアルヴァ 二人のアアルト
フィンランドー建築・デザインの神話」展
AINO AND ALVAR AALTO: Shared Visions

2021年3月20日（土・祝）～6月20日（日）（80日間）

世田谷美術館



①

——アイノとアルヴァ、二人のアアルト。

公私にわたるパートナーとして、世界的建築家への道を歩み始めた1924年から、妻・アイノが他界する1949年まで、25年間の協働の軌跡を追う。

アイノ・マルシオ（後のアイノ・アアルト、1894-1949）が、まだ無名の建築家・アルヴァ・アアルト（1898-1976）の事務所を訪ねたのは1924年のことでした。アイノはアルヴァの事務所に入り、ともにヘルシンキ工科大学の卒業生であったふたりは、半年後に結婚します。

アイノがパートナーになったことで、アルヴァに「暮らしを大切に作る」という視点が生まれ、使いやすさや心地よさを重視した空間には、優しさと柔らかさが生まれます。合理主義的なモダニズム建築の流れのなかで、ヒューマニズムと自然主義の共存が特徴的なアアルト建築は独自の立ち位置を築き、それはアルヴァが世界的に名を知られる建築家となる礎となりました。そこには、多分にアイノの影響があったことが想像できます。

小さな事務所からスタートした彼らの作品は、1920年代後半になると、モダニズムデザインの国際的な潮流に影響されます。シンプルであること、実用的であること、そして低コストによる量産化といった理念は、ふたりの想い＝思想とも重なり合うものでした。彼らは自国フィンランドの環境特性をふまえ、自然から感受した要素をモチーフとしたデザインを通じ、彼らなりのモダニズムに対する答えを探求していくことになります。

ふたりの役割についてはしばしば、建築をアルヴァ、インテリアや家具デザインを主にアイノが担当したといわれます。しかし実際にはそれらを明確に区別することはむずかしく、彼らは互いの才能を認めあい、影響しあい、補完しあいながら作品をつくり続けていました。女性が社会に進出することが少なかった時代において、常にパートナーに同等に向き合ったアルヴァの態度は、アイノに大きな勇気を与えたことでしょう。後にアイノは54歳という若さで他界しますが、ふたりが協働した25年間は、かけがえのない創造の時間となりました。

本展は、これまであまり注目されて来なかったアイノ・アアルトの仕事に大きく着目することで、アルヴァ・アアルトの建築とデザインの本質と魅力を見つめ直し、またそこに新たな価値と創造性を見出そうとするものです。2019年12月から東京のギャラリーエークウッド、2020年6月より神戸の竹中大工道具館にて開催した先行企画に新たな内容を加え、さらに長年遺族のもとで保管されてきた初公開資料などもご紹介します。

出品内容：

図面・スケッチ、家具、プロダクトデザイン、建築模型、写真等 約230点（予定）

展覧会のポイント・みどころ

◆アアルト建築は、「二人のアアルト」によってかたちづくられた？

フィンランドが生んだ建築界の巨匠、アルヴァ・アアルト。その最初の妻・アイノの存在に注目して開催する、国内初の展覧会です。

◆デザイナーであり、ビジネスパーソンでもあったアイノ。その現代的・先駆的な女性像と、ファミリー像。

夫・アルヴァと対等な関係でアアルト事務所を牽引し、現在も続くアルテック社の初代ディレクターを務め、自身も建築家・デザイナーとして活躍したアイノ・アアルト。家庭と普段の生活を愛する、二人の子どもの母親でもありました。生活に根ざしたその視点こそが、アアルト建築のエッセンスを形成したといえます。

◆初公開となる貴重な資料も

本展はフィンランドのアルヴァ・アアルト財団と、遺族によるファミリー・コレクションの全面的な協力により実現します。家族の写真やプライベートなスケッチなどによるファミリー・コレクションは日本初公開となります。

展覧会概要 ※太字は必須掲載項目です

展覧会名： **アイノとアルヴァ 二人のアアルト フィンランドー建築・デザインの神話**
Aino and Alvar Aalto: Shared Visions

会期： **2021年3月20日（土・祝）～6月20日（日）（80日間）**

開館時間： 午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

休館日： 毎週月曜 ただし5月3日（月・祝）は開館、5月6日（木）休館

会場： **世田谷美術館 1階展示室**
東京都世田谷区砧公園1-2 tel. 03-3415-6011（代表）

展覧会のご案内： 050-5541-8600（ハローダイヤル）

観覧料： 一般1200円、65歳以上1000円、大高生800円、中小生500円
日時指定予約制（2/25正午よりEティックスにて販売開始）
<https://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum/>
※詳細は決定次第ウェブサイトにてお知らせします

【期間限定チケット】 一般1000円、65歳以上800円
3月20日（土）～4月23日（金）ご来場の方限定のお得なチケットです

展覧会公式ウェブサイト： <https://www.aino-alvar.com/>

主催： 世田谷美術館（公益財団法人せたがや文化財団）
共催： 公益財団法人ギャラリー エー クワッド
特別協力・協力： アアルト・ファミリーコレクション、アルヴァ・アアルト財団
後援： フィンランド大使館、フィンランドセンター、世田谷区、世田谷区教育委員会
企画協力： S2株式会社
協賛： フィンエアー、フィンエアーカーゴ、アルテック、イッタラ
巡回情報： 詳細は展覧会公式ウェブサイトをご覧ください



①



②



③



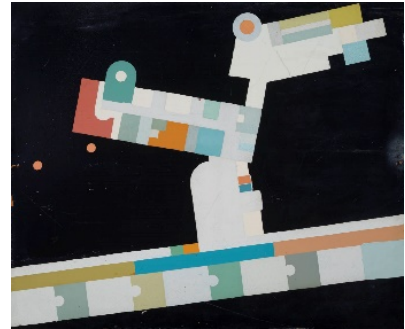
④



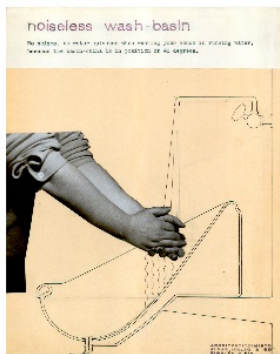
⑤



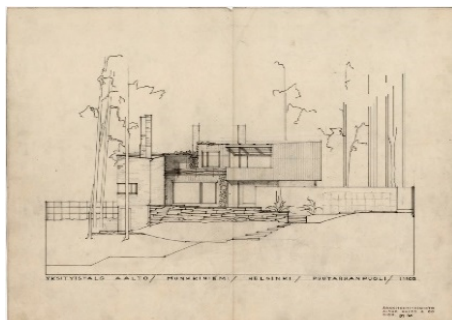
⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

キャプション・クレジット一覧 (必須)

- ①アイノ・アアルトとアルヴァ・アアルト、1937年 Aalto Family Collection, Photo: Eino Mäkinen
- ②アイノ・アアルトとアルヴァ・アアルト ニューヨーク万国博覧会フィンランド館にて、1939年 Alvar Aalto Foundation
- ③アイノ・アアルト、ボルゲブリック・シリーズ、1932年デザイン Alvar Aalto Foundation
- ④アルヴァ・アアルト、スツール 60、1933年デザイン Alvar Aalto Foundation
- ⑤アルヴァ・アアルト、41 アームチェア パイミオ、1932年デザイン Photo: Tiina Ekosaari Alvar Aalto Foundation
- ⑥アイノ・アアルト、ヴィラ・フローラ水彩スケッチ、1942年 Aalto Family Collection
- ⑦エイノ・カウリア/アルヴァ・アアルト、パイミオのサナトリウム1階天井色彩計画、1930年頃 Alvar Aalto Foundation
- ⑧病室の消音設計された洗面器の解説図/パイミオのサナトリウム、1933年 Alvar Aalto Foundation
- ⑨アアルトハウス庭側立面スケッチ、1935年 Alvar Aalto Foundation
- ⑩ヴィープリの図書館 講堂 Alvar Aalto Foundation
- ⑪アアルトハウス リビングルーム Alvar Aalto Foundation
- ⑫マイレア邸 リビングルーム Alvar Aalto Foundation
- ⑬マイレア邸外観 Alvar Aalto Foundation

※画像の貸出申込については別紙をご参照ください

同時開催展

- ミュージアム コレクションⅢ 「美術家たちの沿線物語 田園都市線・世田谷線篇」
2020年12月19日(土) —2021年3月28日(日)
- ミュージアム コレクションⅠ 「驚異の三人!! 高松次郎・若林奮・李禹煥 ——版という場所で」
2021年4月17日(土) —6月13日(日)(予定)

交通案内

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 1-2 Tel. 03-3415-6011 (代)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp>

展覧会のご案内：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

- ・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス㊸「美術館」下車徒歩3分
- ・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス㊸「砧町」下車徒歩10分
- ・小田急線「千歳船橋」駅から、田園調布駅行バス㊸「美術館入口」下車徒歩5分
- ・来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

